

福祉のつどい 事前アンケート

「福祉のつどい」に、事前に参加申込みされた方から、作業部会で検討している「4つの課題」の対応策についてのアンケートのご協力をいただきました。

その結果は、以下のとおりです。

事前送付数：210通 回収 113通（回収率53.8%） *未記入3通

- 1 必要な福祉に関する情報があまり届いていないのでは？
ア 対応策で十分(36) イ もう少し充実させると良い(66) ウ 不十分(8)
- 2 気軽に集える場が、地域にあまりないのでは？
ア 対応策で十分(38) イ もう少し充実させると良い(39) ウ 不十分(33)
- 3 「ともに生きる」ことを大切にしたい啓発が十分ではないのでは？
ア 対応策で十分(38) イ もう少し充実させると良い(51) ウ 不十分(21)
- 4 地域福祉活動を行う人があまりいないのでは？
ア 対応策で十分(28) イ もう少し充実させると良い(59) ウ 不十分(23)

自由記入

<高齢者分野>

- 1 積極性のない高齢者は孤独になり勝ちで、家族負担が大きい。ゲートボールをやる人も少なくなり、毎日がつまらない。高齢者の集まる場所を与えて自由に話し合える場所を作ってほしい。
- 2 地域には高齢者が多く、老人クラブもない。健康であっていただくためには、心を開く場所や友人作りが大切
- 3 ご近所ネットワークが希少になってきた。特にマンションの増加に伴いあいさつもロクにしない若い居住者が、ご近所住民と言えるだろうか
- 4 ひとり暮らしの高齢者で、急に体調が悪くなり、電話機まで行けないまま亡くなることもあると思う。一番簡単で安い携帯電話を持たせると良い
- 5 2階の会場に登ってくる高齢者に対して、いつも気がもめる。スリッパも不安定。予算が減額されている中、無理だと思うが、ご一考を
- 6 比較的規模の大きいマンションに住んでいるが、その自分のマンションでさえネットワーク作りが困難。ひとり暮らしの高齢者も増えてきて、今回の4つのテーマはすべて身近に感じる
- 7 ボランティアの人たちの骨折りで、3ヶ月に1回程度行っている給食会も、ほとんど出席する高齢者は同じ人、会に来れない人たちが気にかかる。
- 8 地域で行われている「生きがいクラブ」に、多数参加出来るようにする
- 9 気軽に集える場を積極的に作っていただけ
- 10 拠点を数箇所つくとあるが、いくつか？
- 11 気軽に集える場が増えるのは楽しみです、集まる人が同じ人ばかりにならないように
- 12 気軽に集える場は、地区の会館を利用やマンションの管理室などの付属の部屋を利用するとかが良い
- 13 これだけの内容をこなすには、多くの人材が必要。地域にはお世話する方もされる方も高齢者が現状

- 14 情報誌を出しても、高齢者になると読解力が欠けてくる。興味をもって見てもらえるような工夫が必要
- 15 人材の部分に気になる。何かをするには人が必要。高齢者が高齢者を助ける、助け合う仕組みや三世代のつながりも必要。
- 16 ひとり暮らしの高齢者の対しての活動だけでなく、元気な高齢者が参加活動できる機会があってもよい

< 障害者分野 >

- 17 福祉に関係している者ばかりの研修会・学習会ではなく、誰もが参加できるようにしたいと思う
- 18 障害者であるが、私には集える場所があり充実しているが、地域の同じような人に話をしても理解してもらえないことが残念に思う
- 19 最近、特に目に付くように思うが、せっかくの広い歩道上によく車がある。高齢者、車イス等の安全な通行の妨げになると思う。警察の協力も必要では
- 20 障害者 = 身体障害者でしょうか？精神・知的障害者への具体的な対応はなんら触れられていないことに失望している。身体障害者の方は自分で話をする事ができるが、先の2種の障害はそれも難しい人が多く、なかなか理解を得られない現実がある

< 計画全体への意見・要望 >

- 21 高齢者中心では若い人は動けない、子どもたちを中心にして活動を進めること
- 22 自治会で役員会が開かれるときに、組長から組の高齢者・子どもの事を聞き、また、組に戻り、いろいろな情報をお知らせする
- 23 養成は活動につながるように
- 24 地域内だけで人材確保するのではなく、地域の外からでも発掘・育成
- 25 福祉活動で楽なことではない。毎日コツコツ身体を動かしてやってくださる方。今は少ないと思うが、まずは、自分のできることから動くこと
- 26 ボランティアに参加する人選びを知人から知人への呼びかけではなく、小・中学校の役員名簿等を参考に声かけすれば良いのでは
- 27 区の人材センターを作ったらどうか
- 28 ひとりの人がいくつもの活動をしていて、どれも一生懸命やることはとても大変だと思う。家庭にいる人でもこういった活動に興味のある人とか、小・中とPTAの活動をして、その後時間のできた人など、広報誌で呼びかけるなどしたらどうか
- 29 町内会単位で種々の問題の把握を充実させ、あわせて協力人材も考えると良いのでは。そのためには、町内会長の活動・協力が必要と思う。あまり、区とか学区と大きくとらえ過ぎると、結果が出ないのでは
- 30 無償のボランティアは当たり前のことと思っていました。一部の人々に有償のボランティアがあると聞いた。ボランティア本来の姿に戻って行きたいと思う
- 31 場所も大切だが、維持できる方法を
- 32 様々な福祉に関わるための専門知識を身に付ける機会が、もっとたくさん、かつ、無料であれば良いと思う。
- 33 潜在的に力を出さず気持ちのある人は多数いると思う
- 34 広報なごやを読まない人が多い。受けての問題もある
- 35 情報が届いていないと、私も思う。ボランティアの存在を対象の人たちに知らせたくても、担当の係はプライバシーの保護ということでPRもできない。役所がバリアになっていて協力をと言われても、一方的だと思う。
- 36 情報を伝える手段として、紙にすって配るだけではダメ。ゴミをつくるだけ。小さな字は読む気がしない。読んでもわからない。他の方法を考えるべき。

- 37 多くの情報が欲しい
- 38 参加してほしい人に対するPRが難しい。どのように対応したらよいかを聞かせて欲しい。
- 39 幅広く啓発させること
- 40 地域において、常に特定の人を中心では進歩はない
- 41 すべての計画を未来に向けて立てていく必要がある。子育て中の主婦の意見を大切に拾い集めることこそ、地域の福祉活動協力者を育てていくことになるのでは
- 42 事業所へ呼びかけ参加をしてもらい、地域に組み込んで双方を発展させるとよい
- 43 中・高生も新たな担い手に
- 44 福祉の担い手の問題については、いくつかの地域で実施されている地域通貨について、検討してみたらどうか
- 45 サロンづくり、総合案内所づくり等お金がかかることが多いような気がする。まず、資金作りをどうするかを考えて、進めてもらえると住みよい街になると思う。
- 46 情報発信の拠点＝活動の拠点＝啓発の拠点であるならば、小学校区に一つ程度は必要。
- 47 かかわる人がいつも同じなので、どうやったら広くいろんな人に声をかけ、聞いてもらえるか、足を運んでももらえるかが難しいところだと思う
- 48 もっと地域のことを地域住民が深刻に話し合う機会や、意見を求める場所が必要と考えている
- 49 集える場の確保が先決。小学校区に1ヶ所。少子化が進んでいるので、小学校の空き教室の利用が可能ならば、トワイライトの中に入り込み、地域の顔見知りの仲間になりうることもあるかなと思う。高齢者が持つ生活の知恵、昔遊び、技などを習いつつ、自然体で世代に関係なくボランティアに参加している体制作りができればいいと思う。その橋渡しをする人は、無償ボランティアではなく最低限有償ボランティアが必要
- 50 対応策がステップであるならばそれで良いが、本当に可能なのかどうか。そこまで入り込むメンバーがどれほど参加してもらえるか。じっくり底辺を根気よく開発し、一步一步ではないのか。
- 51 理想と現実とは違うので、机上の餅にならないように
- 52 「理想は高く」だが、まずは一つずつ着実な実現を目指していくより方法はない。多くの機関とネットワークを引きめぐらせて、共に連携していくことが重要と考える
- 53 会合に出てもいつもの顔が上部役員。いつも一緒の人が机に向かってあまり直接地域に接していないような人が、机の上の計画を並べているようで、形式にこだわっているように感じがし、実際に高齢者を向いていない。自分の身近な小さな事からまず手をつけて、地域の実情をもっと多く、良く知って欲しい
- 54 企画や機会の充実を期待している
- 55 この計画が地域の隅々まで確実に伝わり、実行できれば良いと思う。
- 56 何事も、個々人の考え方が異なるので、たいへん難しいと思う。考えが年齢、立場、環境によって大きな違いとなるので、注意して考えて欲しい
- 57 住民の気軽なあいさつが第一歩
- 58 介護を要する人もさりながら、介護をする人、しなければならぬ人に対する対応が足りないような気がする
- 59 よくまとめられている。この計画を誰がどのように進めるかが課題ではないだろうか
- 60 町内会長を通じて、町内ごとに話し合う必要があるのでは。名簿がないので町内でどんな人がすんでいるかもわからない。年度代わりを利用してはと思う
- 61 方向的には良い。
- 62 P（計画）D（実施）C（評価）A（見直し）を廻す必要がある。
- 63 マンパワー不足、場所不足、意識不足などを痛感している。
- 64 良い福祉活動を祈ります
- 65 この計画を実行に移そうとすれば、様々な困難に突き当たると思うが、がんばって前進してください。

- 66 対応策がきちんとできれば十分だと思うが、対応策どおりにできるようにする事が課題だと思う
- 67 策定委員会のメンバーの中に障害者・高齢者等にも参加してもらい、本音を聞く必要性があるのでは
- 68 地域福祉に従事する人（若い人）の活動養成が必要ではないか

<その他>

- 71 区政協力委員の努力も大切だが、行政当局として、区役所の担当者等が町に出て、協力委員と共に住民とふれあう努力をしてほしい
- 72 区政協力委員、民生委員が動きやすくしてほしい